

第2学年 技術・家庭科 シラバス（学習案内）

教科の目標

○中学校技術・家庭科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

○中学校技術分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

○中学校家庭分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

本校ではこれらの目標を次の「評価の観点と方法」をもとに達成することを目指します。

評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
生活や技術への関心・意欲・態度	・積極的に学習に取り組もうとする態度や学習した技術や知識を家庭生活や社会生活をよりよくするために生かそうとする態度が見られるかについて評価します。	・授業中の発言 ・授業への意欲、関心 ・プリント等提出物への記入状況 など
生活を工夫し想像する能力	・生活を見直し、習得した知識や技術を積極的に活用してよりよい生活を送るために創意工夫しているかを評価します。	・テスト ・プリント等提出物 など
生活の技術	・生活を行うための基礎的な技術が身に付いたかを評価します。	・実習へ取り組む姿勢 ・実習での理解度 ・課題の完成度 など
生活の知識・理解	・生活をよりよくするために必要な基礎的な知識が身についているか。また技術とのかかわりについて理解しているかを評価します。	・テスト ・プリント等提出物 など

第2学年 技術・家庭科 学習計画

学期	月	学習内容（単元名）	学習のねらい
一 学 期	4		
	5		
	6	○住生活の自立 ・住まいのはたらき ・共に住まう	☆住まいの役割について理解する。 ☆幼児、高齢者の立場に立って、住まいの危険な場所について点検し、快適な住まい方を考える。
	7	・安全な住まい ・住まいと地域	☆災害の備えについて考える。
二 学 期	8	○衣生活の自立 ・日常着の活用 ・日常着の手入れ ・布を用いた製作	☆衣服のはたらきを理解し、目的に合った衣服の選択と手入れについて考える。 ☆衣服材料に応じた日常着の適切な手入れと補修の仕方を身につける。
	9		☆環境に配慮した選択や衣服の再利用について考え、実践できる。
	10		☆日常の衣服に関心を持ち、衣服の基本的な構成を理解する。 ☆簡単な生活に役立つものの製作に関心を持ち、計画を立てて製作する。
	11	○生物育成	☆植物の育成の方法を学び、安全かつ効率的な育成を試みる。 ☆スプラウトの栽培を行う。
	12	○エネルギーを変換して利用しよう ・エネルギー変換とその利用	☆探してみよう、わたしたちの生活の中で利用されているエネルギー ・社会の中で利用されるエネルギー、家庭の中で利用されるエネルギーについて理解する。 ・電気エネルギーについて考え、利用のされ方を理解する。 ☆身近な環境問題を取り上げ、電気エネルギーへの変換方法について考える。
三 学 期	1	・電気エネルギーについて調べよう	☆電気エネルギーの利用について考える。 ☆「環境ポスター」（省エネ大作戦）をつくるためのソフトウェアを選択し、ポスターをつくる。
	2	・電気エネルギーを利用しよう	☆電子回路とコンピュータの関係を理解する。
	3	○電気作品製作 ・電子回路について知る	☆はんだづけを学習し、電子回路の製作を理解する。

◎学習計画は、実態に応じて変更することもあります。